

令和4年度福祉に関するアンケート調査結果（クロス集計E_日常生活の困りごとに関する分析）

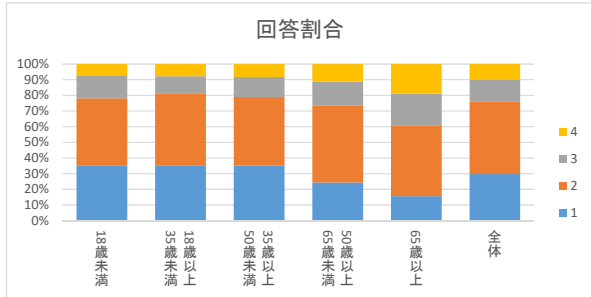
【全員】

問33 あなたは、日常生活で困っていることや、将来に対する不安、悩み事や心配事がありますか。 ※選択単答

E1-1 ⇒【問2】年齢 回答ごとの分析（便宜上、いくつか年齢を区分して集計）

	18歳未満	18歳以上 35歳未満	35歳以上 50歳未満	50歳以上 65歳未満	65歳以上	全体
1 たくさんある	196	535	790	764	92	2415
2 少しある	236	694	980	1526	266	3754
3 あまりない	79	164	286	479	118	1136
4 全くない	42	117	182	352	111	813

※回答割合・・・回答者年代ごとの将来に対する悩み事等に係る回答割合



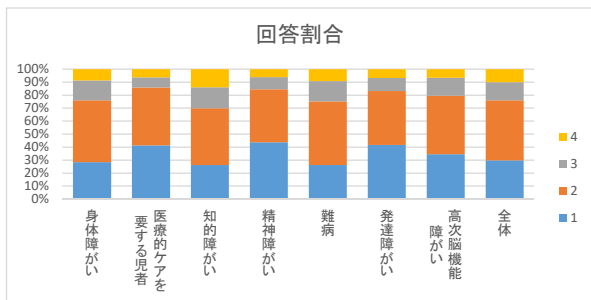
「たくさんある」または「少しある」と回答した者の合計割合は、18歳以上35歳未満の年齢区分で最も高く、年齢区分が上がるにつれて低くなっている。

E1-2 ⇒【問4～問11】障がい種別 回答ごとの分析

※障がい種別が重複している場合は、それぞれにおいて回答数を計上している

	身体障がい	医療的ケアを要する児者	知的障がい	精神障がい	難病	発達障がい	高次脳機能障がい	全体
1 たくさんある	814	138	531	942	298	686	108	2415
2 少しある	1367	149	882	881	556	680	141	3754
3 あまりない	439	26	329	201	177	165	43	1136
4 全くない	249	21	281	131	104	112	21	813

※回答割合・・・各障がい種別について障がい者福祉手帳を所持している等と回答した者ごとの、将来に対する悩み事等に係る回答割合

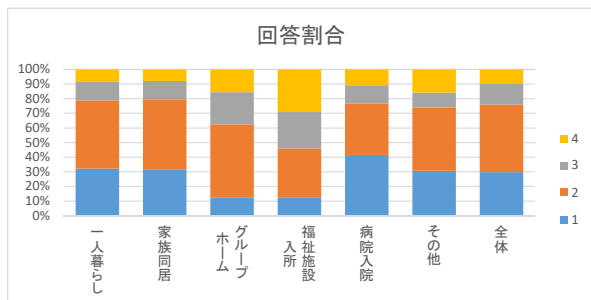


医療的ケアを要する児者、精神障がい者、発達障がい者は他の障がい種別と比べて「たくさんある」または「少しある」と回答した者の合計割合が80%以上となっている。

E1-3 ⇒【問12】現在の居住状況 回答ごとの分析

	一人暮らし	家族同居	グループホーム	福祉施設入所	病院入院	その他	全体
1 たくさんある	334	1823	46	77	69	27	2415
2 少しある	484	2753	181	209	58	38	3754
3 あまりない	135	728	80	155	20	9	1136
4 全くない	85	452	57	182	19	14	813

※回答割合・・・居住状況に関する設問に対する回答ごとの、将来に対する悩み事等に係る回答割合

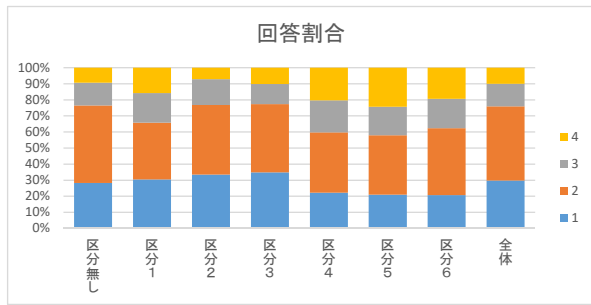


福祉施設入所者、グループホーム入居者は、他の者と比べて「たくさんある」または「ある」と回答した者の割合が低い。

E1-4 ⇒【問18】障害支援区分 回答ごとの分析

	区分無し	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	全体
1 たくさんある	1509	33	104	103	69	57	60	2415
2 少しある	2577	38	134	125	117	100	121	3754
3 あまりない	755	20	50	37	62	48	53	1136
4 全くない	496	17	22	30	63	56	56	813

※回答割合・・・居住状況に関する設問に対する回答ごとの、将来に対する悩み事等に係る回答割合



「たくさんある」または「ある」と回答した者は、区分無し～区分3までの者が約65%～75%であり、区分4以上の者は約60%であり、少し回答割合に差がある。

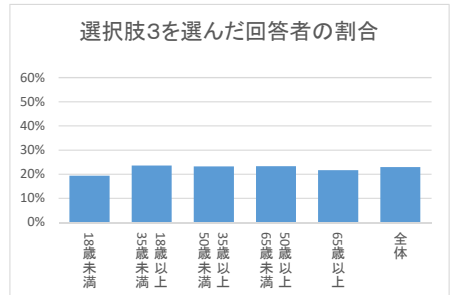
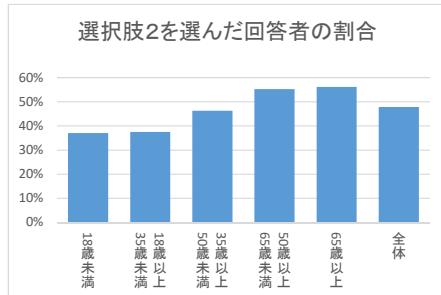
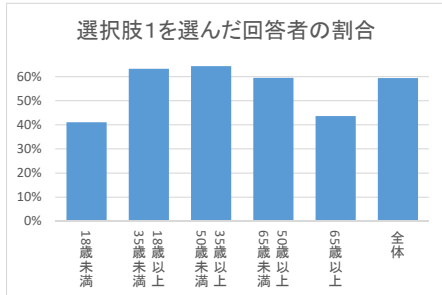
【問33で、「1」または「2」を選択した方のみ】

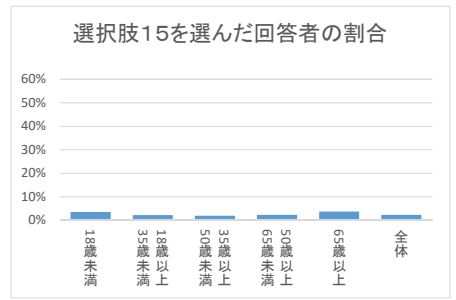
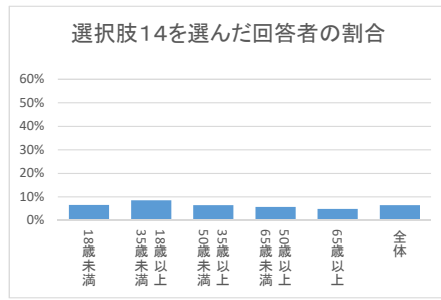
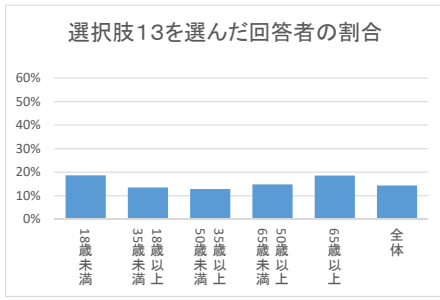
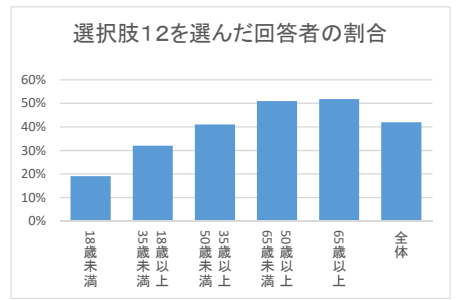
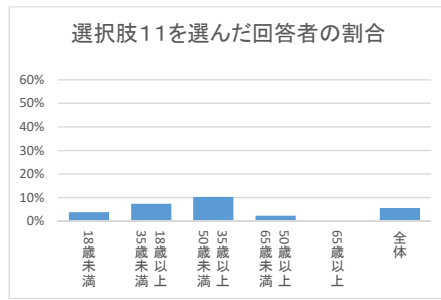
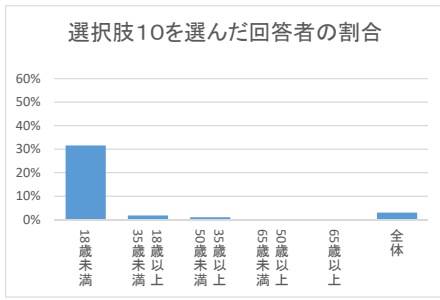
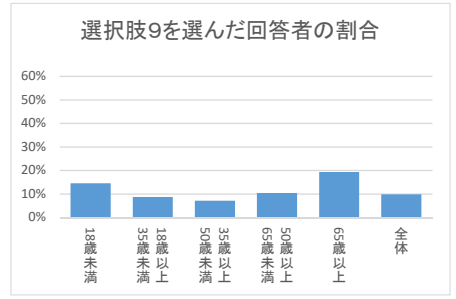
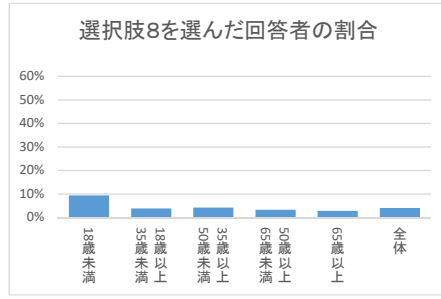
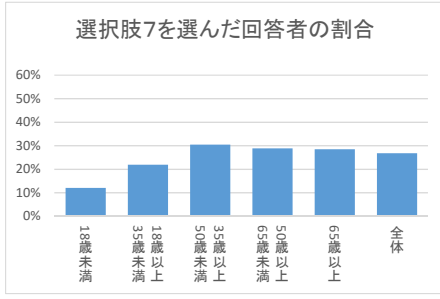
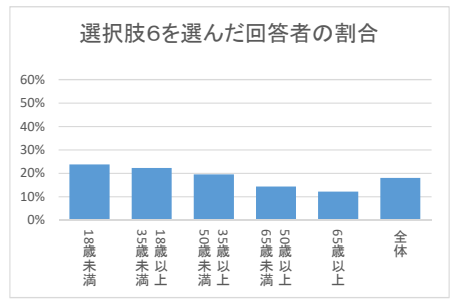
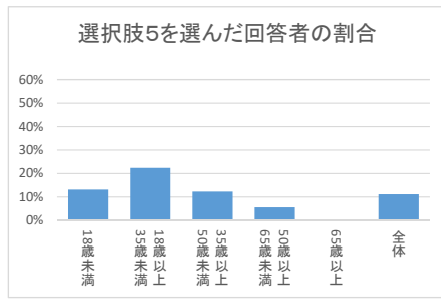
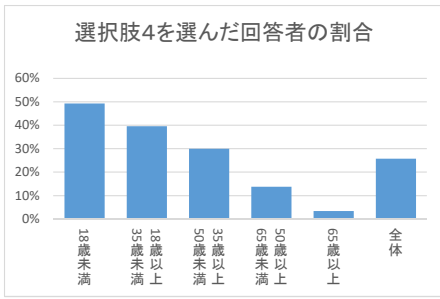
問34 あなたの日常生活で困っていることや、将来に対する不安、悩み事や心配事は何ですか。 ※選択3つまで

E2-1 ⇒【問2】年齢 回答ごとの分析 (便宜上、いくつか年齢を区分して集計)

回答数	18歳未満	18歳以上 35歳未満	35歳以上 50歳未満	50歳以上 65歳未満	65歳以上	全体
1 お金や財産のこと	424	1224	1751	2262	351	6097
2 健康や医療のこと	174	773	1125	1345	153	3621
3 住まいのこと	157	459	810	1249	197	2913
4 就職や仕事のこと	82	288	406	527	76	1399
5 恋愛や結婚のこと	209	485	525	313	12	1570
6 人間関係、地域生活のこと	56	275	216	128	1	683
7 家族のこと	101	274	344	326	43	1105
8 人権(差別、虐待など)について	51	268	534	654	100	1636
9 介護や福祉サービスのこと	40	48	74	75	10	249
10 進学や学校のこと	62	107	125	236	68	605
11 進学や学校のこと	134	22	18	5	1	182
12 子育てや子供の教育のこと	16	90	179	51	0	338
13 自分の老後のこと	81	392	719	1154	182	2562
14 災害が発生した時のこと	15	27	35	52	13	144
15 生きがいづくりや趣味のこと	79	164	223	333	65	873
その他	28	104	113	130	17	395
その他	15	27	35	52	13	144

※回答割合・・・各年代における者で本設問に対して1つ以上の選択肢を選択した者のうち、当該選択肢を選択した者の割合





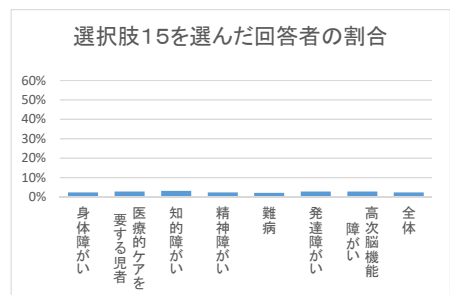
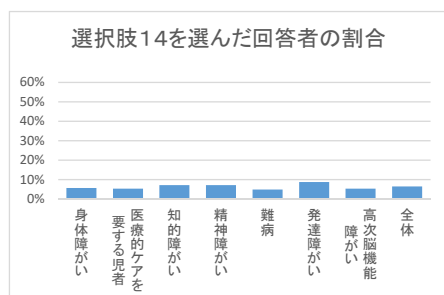
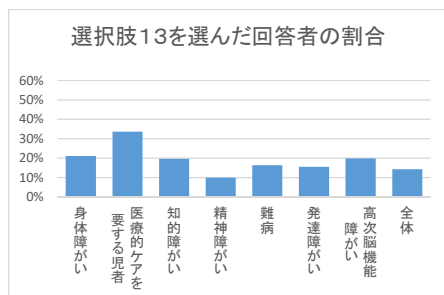
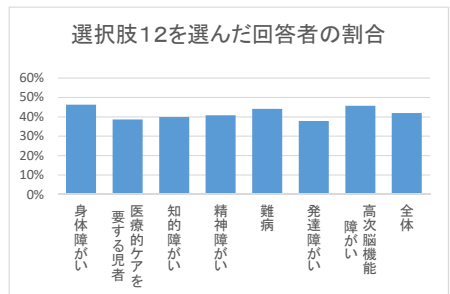
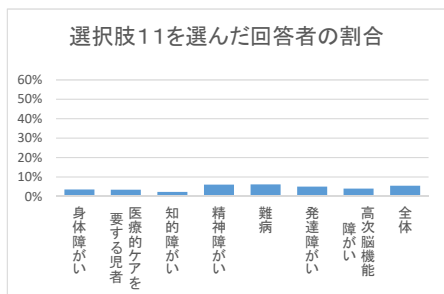
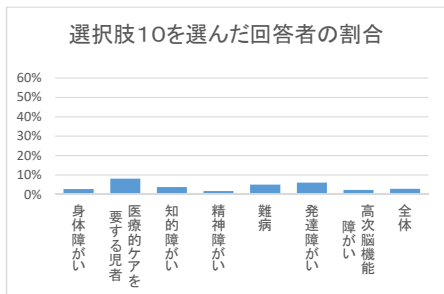
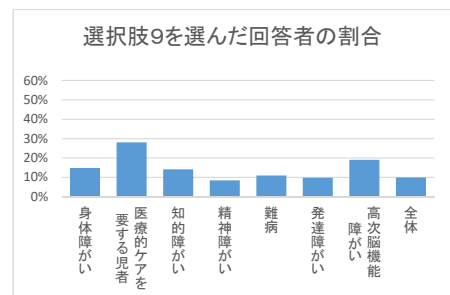
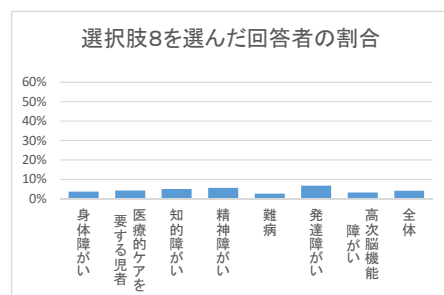
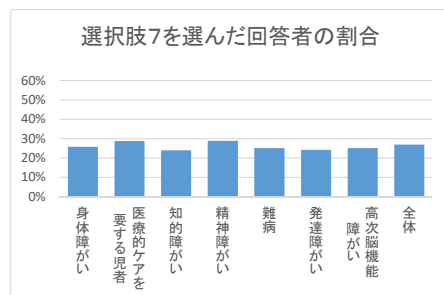
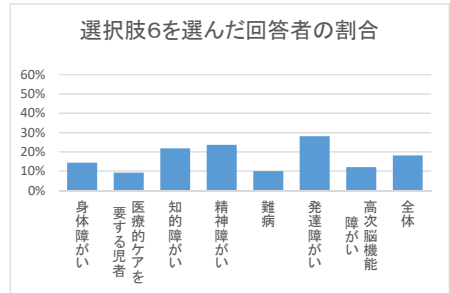
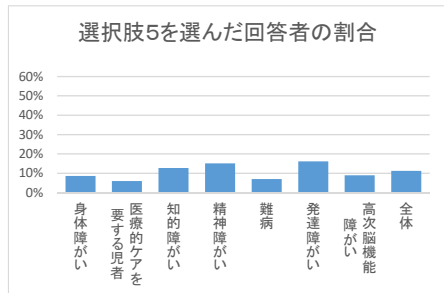
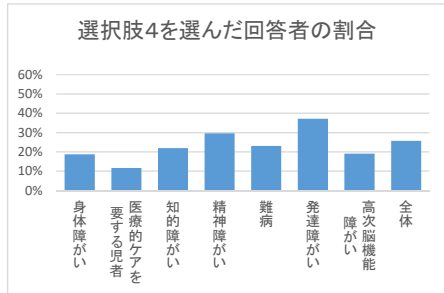
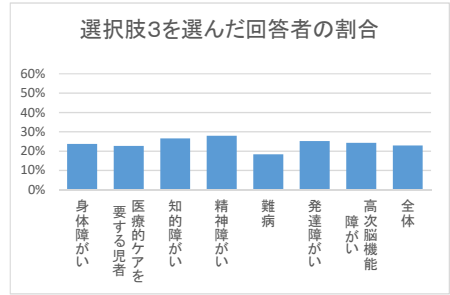
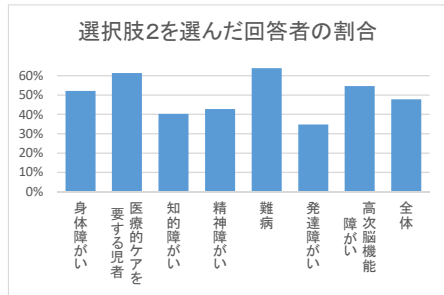
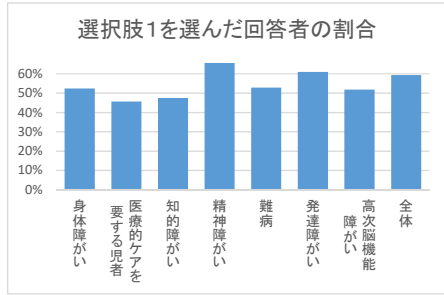
「健康や医療のこと」や「自分の老後のこと」の選択肢の回答率は年代に比例して高くなっている一方で、「就労や仕事のこと」の選択肢の回答割合は年代が上がるにつれて低くなっている。

E2-2 ⇒ 【問4～問11】障がい種別 回答ごとの分析

※障がいが重複している場合は、それぞれにおいて回答数を計上している

	回答数	身体障がい	医療的ケアを要する児者	知的障がい	精神障がい	難病	発達障がい	高次脳機能障がい	全体
1	2143	282	1402	1800	845	1358	247	6097	
2	1123	129	666	1281	447	828	128	3621	
3	510	64	373	503	155	342	60	1399	
4	402	33	307	532	195	504	47	1570	
5	185	17	178	272	59	220	22	683	
6	308	26	306	426	85	382	30	1105	
7	552	81	336	518	212	328	62	1636	
8	79	12	70	101	22	92	8	249	
9	318	79	198	151	93	134	47	605	
10	61	23	54	33	43	83	6	182	
11	77	10	33	111	53	70	10	338	
12	992	109	560	735	373	514	113	2562	
13	452	95	275	180	138	211	49	873	
14	122	15	100	129	41	119	13	395	
15	50	8	45	43	18	38	7	144	

※回答割合・・・各障がい種別について障がい者福祉手帳を所持している等と回答した者で本設問に対して1つ以上の選択肢を選択した者のうち、当該選択肢を選択した者の割合

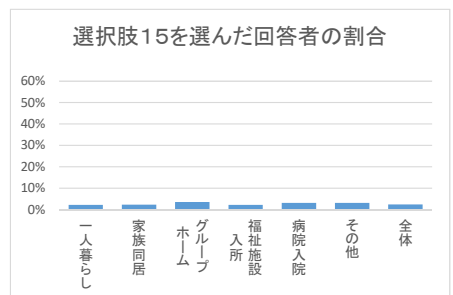
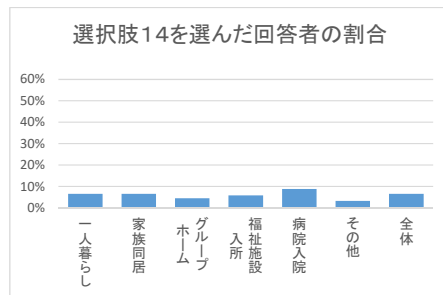
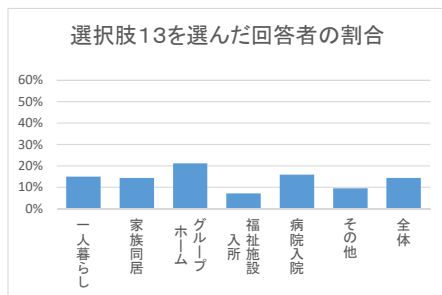
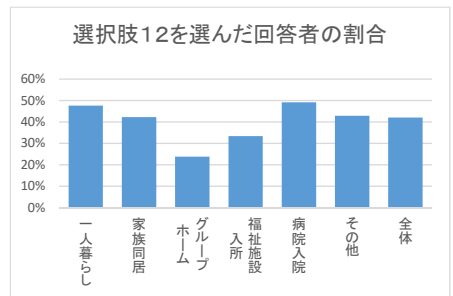
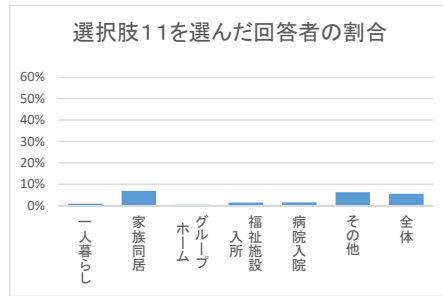
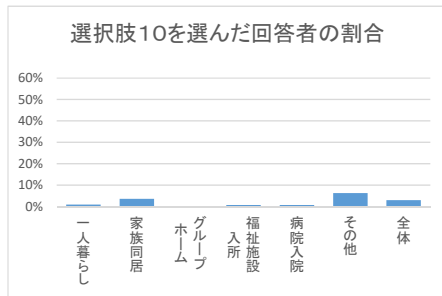
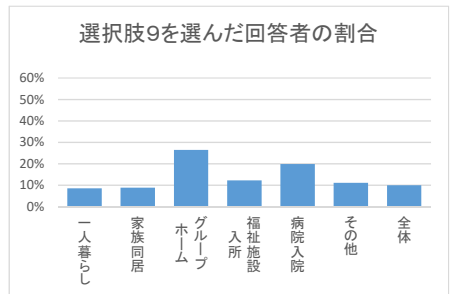
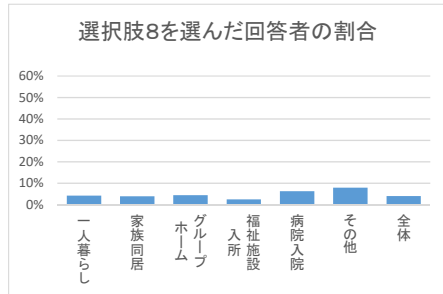
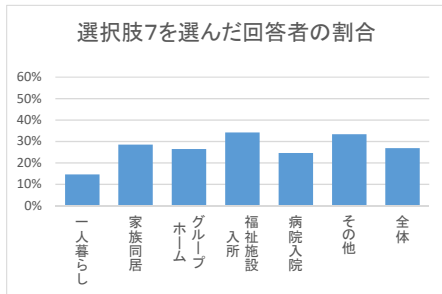
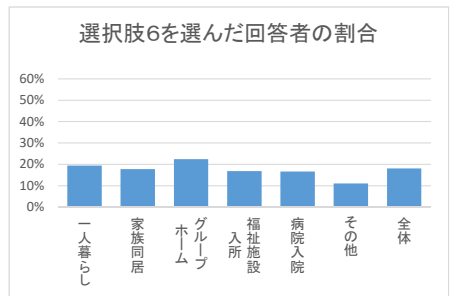
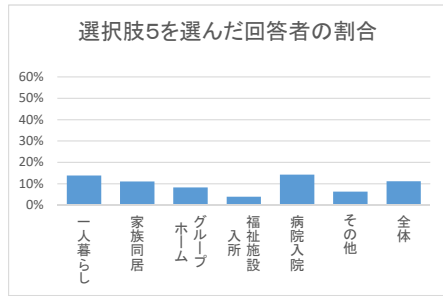
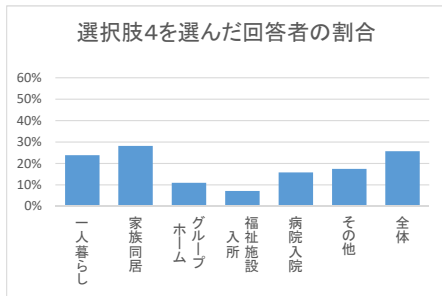
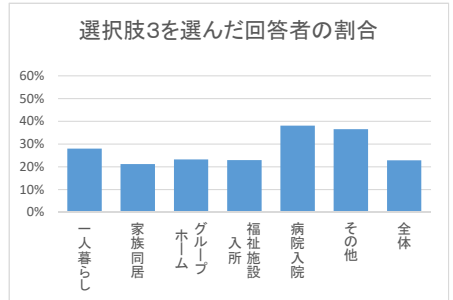
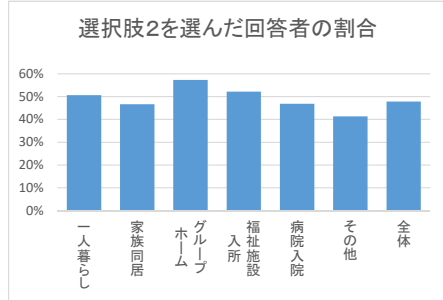
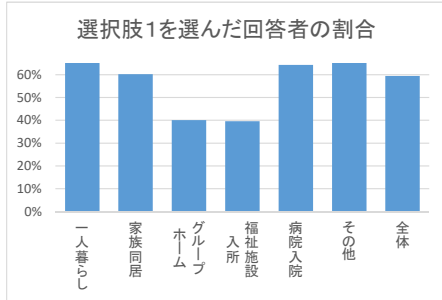


精神障がい者と発達障がい者は、「お金や財産のこと」、「就職や仕事のこと」、「人間関係や地域生活のこと」と回答した者の割合が他の障がい種別と比較して相対的に高くなっている。「介護や福祉サービスのこと」と回答した者の割合は、身体障がい、知的障がい、難病、高次脳機能障がいの種別で高くなっている。医療的ケアを要する児者は「災害が発生した時のこと」と回答した者の割合が全体平均の2倍以上となっている。

E2-3 ⇒【問17】日中の生活（活動）場所 回答ごとの分析

	一人暮らし	家族同居	グループホーム	福祉施設入所	病院入院	その他	全体
1 回答数	806	4531	227	278	126	63	6097
1 お金や財産のこと	527	2728	91	110	81	41	3621
2 健康や医療のこと	408	2115	130	145	59	26	2913
3 住まいのこと	226	964	53	64	48	23	1399
4 就職や仕事のこと	193	1280	25	20	20	11	1570
5 恋愛や結婚のこと	112	506	19	11	18	4	683
6 人間関係、地域生活のこと	157	808	51	47	21	7	1105
7 家族のこと	118	1293	60	95	31	21	1636
8 人権（差別、虐待など）について	34	177	10	7	8	5	249
9 介護や福祉サービスのこと	69	402	60	34	25	7	605
10 進学や学校のこと	8	164	0	2	1	4	182
11 子育てや子供の教育のこと	8	316	1	4	2	4	338
12 自分の老後のこと	384	1915	54	93	62	27	2562
13 災害が発生した時のこと	121	651	48	20	20	6	873
14 生きがいづくりや趣味のこと	52	294	10	16	11	2	395
15 その他	18	104	8	6	4	2	144

※回答割合・・・各日中の生活（活動）場ごとの者で本設問に対して1つ以上の選択肢を選択した者のうち、当該選択肢を選択した者の割合

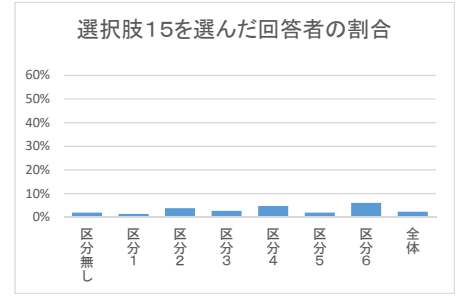
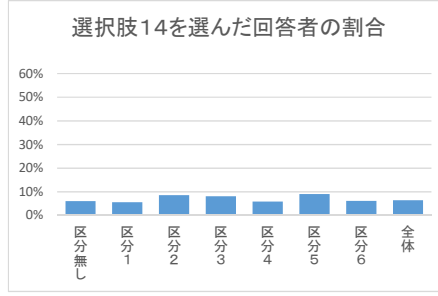
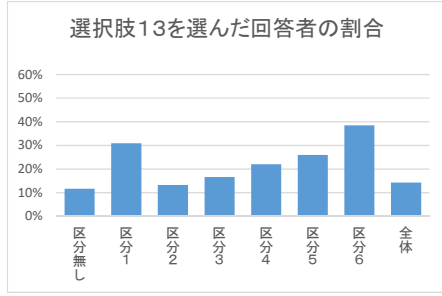
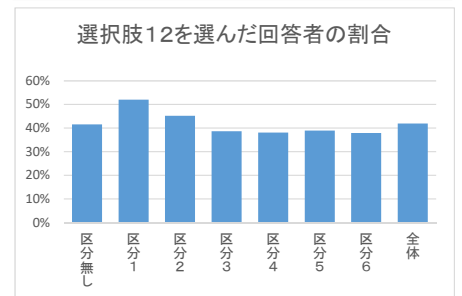
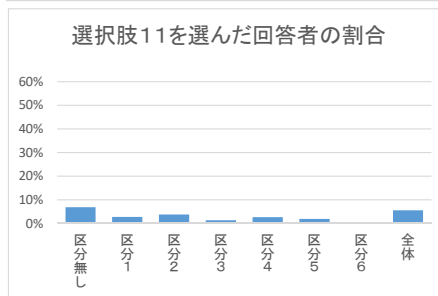
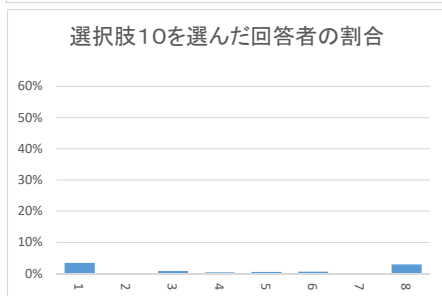
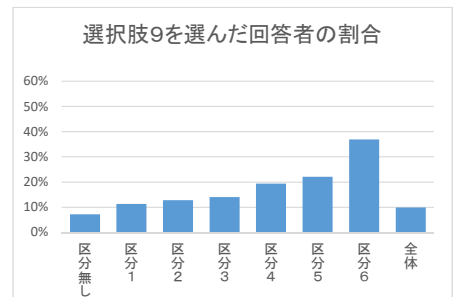
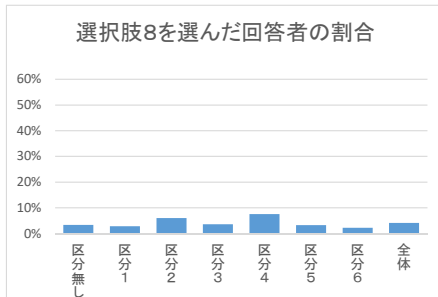
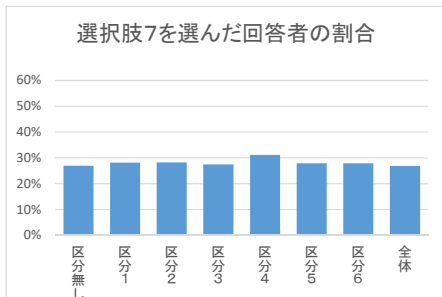
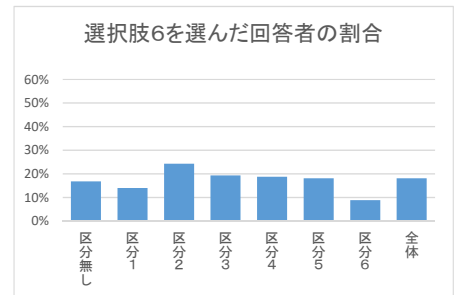
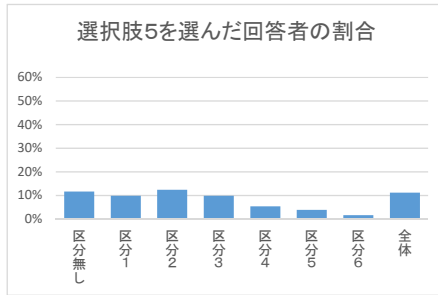
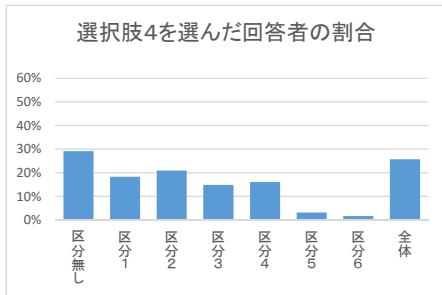
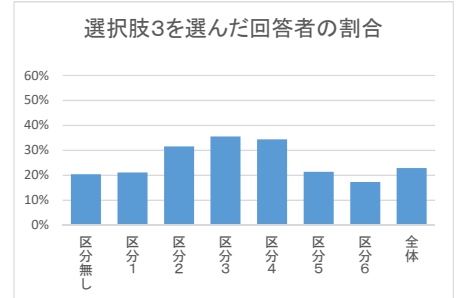
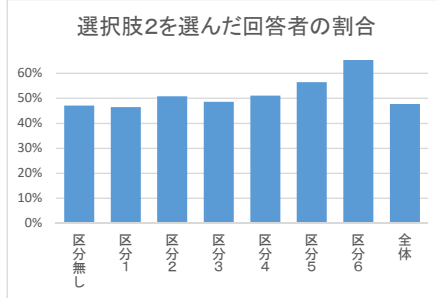
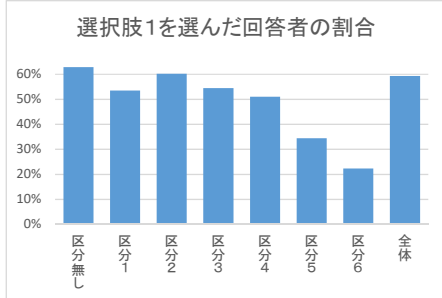


「お金や財産のこと」や「自分の老後のこと」を選択した回答者の割合について、グループホーム入居者及び福祉施設入所者その他の者で、回答割合が大きく異なっている（グループホーム入居者又は福祉施設入所者は回答した者の割合が相対的に低い。）。

E2-4 ⇒【問】障害支援区分 回答ごとの分析

	回答数	区分無し	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	全体
1	お金や財産のこと	4042	71	234	222	186	154	179	6097
2	健康や医療のこと	2541	38	141	121	95	53	40	3621
3	住まいのこと	1904	33	119	108	95	87	120	2913
4	就職や仕事のこと	827	15	74	79	64	33	31	1399
5	就職や仕事のこと	1180	13	49	33	30	5	3	1570
6	恋愛や結婚のこと	473	7	29	22	10	6	3	683
7	人間関係、地域生活のこと	681	10	57	43	35	28	16	1105
8	家族のこと	1088	20	66	61	58	43	50	1636
9	人権（差別、虐待など）について	133	2	14	8	14	5	4	249
10	介護や福祉サービスのこと	289	8	30	31	36	34	66	605
11	進学や学校のこと	141	0	2	1	1	1	0	182
12	子育てや子供の教育のこと	277	2	9	3	5	3	1	338
13	自分の老後のこと	1682	37	106	86	71	60	68	2562
14	災害が発生した時のこと	471	22	31	37	41	40	69	873
15	生きがいづくりや趣味のこと	245	4	20	18	11	14	11	395
16	その他	81	1	9	6	9	3	11	144

※回答割合・・・障害支援区分の認定を受けている等と回答した者で本設問に対して1つ以上の選択肢を選択した者ごとの、当該選択肢を選択した者の割合



「健康や医療のこと」や「介護や福祉サービスのこと」、「災害が発生した時のこと」を選択した回答者の割合は、障害支援区分が上がるにつれ概ね高くなる一方で、「お金や財産のこと」を選択した回答者の割合は、障害支援区分が上がるにつれ概ね低くなる傾向がみられる。